

平成21年度 全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ

初秋の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと、お喜び申し上げます。

さて、4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。

全体の結果

○国語、算数とも全体的に全国平均、県平均、市平均を上回っている。

平均点	国語A（知識）	国語B（活用）	算数A（知識）	算数B（活用）
全国平均	69.9	50.5	78.8	54.8
広島県平均	72.9	53.8	81.3	56.6
広島市平均	71.9	53.2	80.7	57.1
五日市小平均	78.3	56.1	81.4	59.4

○国語のまとめと今後の取組

学習指導要領の領域「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」が、十分に定着している。本校で取り組んでいる学習規律の徹底や毎日の宿題プリントによる繰り返し学習を行うことで本校児童の学力が、定着してきていると考える。

「活用」の面でやや低い（正答率53%）課題がある。特に「書く能力」に課題があり、「報告文を読み、調べる内容を見通して、必要な事柄を整理する」「目的や意図に応じて、事象や意見などを関係付けながら書く」学習をすることが必要であると考え。

○算数のまとめと今後の取組

学習指導要領の領域「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」が、十分に定着している。本校で取り組んでいる学習規律の徹底や毎日の宿題プリントによる繰り返し学習を行うことで本校児童の学力が、定着していると考え。

「活用」の面で少し課題がある（正答率60%）。文章題や二つのグラフなどの読み、情報を整理選択し、筋道を立てて考え、正しい理由を記述すること、基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を記述することなどの学習が必要であると考え。

○生活面について 児童の生活調査から

・全国平均、県平均、市平均より特に高かった項目

- ①物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある。（97.7%）→（達成感の経験）
- ②自分には、よいところがある。（97.7%）→（自己肯定感）
- ③家で学校の宿題をしている。（97.7%）→（学習習慣）
- ④学校の決まりを守る。（96.2%）→（生活の規律）

・全国平均、県平均、市平均より特に低かった項目

- ①家の人と、夕食を一緒に食べていない。（14.4%）
- ②家の人に学校での出来事について話さない。（29.8%）
- ③地域の行事に参加しない。（55.3%）

・今後の取組

児童は、達成感や自己肯定感を持ち、生活の規律も守って学校生活を送っている。低かった項目については、家庭・地域との連携を図りながら今後取り組んでいきたい。